

高安の歌一首

一五〇四番

暇いとまなみ 五月さつきをすらに 我わ妹子ぎもこが 花はな橘たちばなを 見み
ずか過すぎなむ

おほみわのいらつめ おほとものやかもち おく うた
大神女郎、 大伴家持に贈る歌一首

一五〇五番

ほととぎす 鳴なきしすなはち 君きみが家いへに 行ゆけと
追おひしは 至いたりけむかも

おほとものたむらのおほをとめ いろとまかのうへのおほをとめ あた
大伴田村大嬢、 妹坂上大嬢に与ふる歌

一首

一五〇六番

故郷ふるさとの 奈良思ならしの岡をかの ほととぎす 言告ことつげ遣やり
し いかいかにに告つげきや